# 概要説明書

概要説明書(その1) ※登録No. 18D1040									
世织夕新	  落石防護補強土壁工	<b>:</b> ±	※受付年月日	2006.6.20					
技術名称	洛句例護備强工堂工。 	还	※変更受付年月日	2011.3.2					
商標名等	ジオロックウォールエ	 法	開発年月 1998年5月						
分 野	☑ 土木分野   □ 建築分野 (必ず、どちらかを選択してください。)								
区分	□ 技術 ☑ 工	法 □ 製品	□材料□□	その他					
	☑ 安全·安心        ☑ 環境								
	☑ コスト縮減・生産性の向上 □ 公共工事の品質確保・向上 ☑ 景観								
キーワード (複数選択可)	□ 伝統・歴史・文化 ☑ リサイクル								
(後数起扒引)	自由記入								
	□省人化	□ 省力化	☑ 経	済性の向上					
	□施工精度の向上	☑ 耐久性の向	上□安	全性の向上					
開発目標 (複数選択可)	□作業環境の向上	☑ 周辺環境へ	の影響抑制 🛛 地	球環境への影響抑制					
(後数迭扒円)	□ 省資源・省エネルコ	ドー □品質の向上	<b>☑</b> ŋ-	サイクル性向上					
	□その他(			)					
88 5% /-L /	□単独 ☑ 共	同研究 ( 🖸 民・民	□民・官□民	•学)					
開発体制	開発会社 (株)プロ	テックエンジニアリング	, 前田工繊株式会社						
公的支援助成	等(「Made in 新潟 新	「商品調達制度」)の関	連の有無						
該当の有無	☑ 無し 有り □ Ⅰ			VI					
	会社名	(株)プロテックエンジ	ニアリング						
	担当部署	防災設計部							
	担当者     野田 浩章								
問合せ先	住 所 新潟県北蒲原郡聖籠町蓮潟5322-26								
101111111111111111111111111111111111111	Tel 025-278-1551								
	Fax	x 025-278-1559							
	E-mail	noda@proteng.co.jp							
	ホームページURL	http://www.proteng.co.jp							
	(アブストラクト)※検索								
	Eを利用し5000kJ程度 <i>0</i> )出擁壁である.	り大規模な落石エネル	キーに対応できるジオ	テキスタイルを用い					
	るため軟弱な地盤にも	追随でき, 杭基礎等か	「不要で経済性に優れ」	る. 景観面では, 壁					
面を緑化でき環	環境に調和できる.								
 新技術の概要									
<u> </u>	建物の際で防護する擁	壁でジオテキスタイル	を用いた補強盛土によ	って構築される技術					
である.									
②従来はどの!	ような技術で対応してい	<b>ハ</b> ナーかつ							
			ため400kJ程度の落石	エネルギーが限界で					
あった.									
また、それ以上の落石エネルギーに対応するには、斜面に設置される高エネルギー吸収柵や道路を覆  うロックシェッドで対応していた。									
③公共工事のどこに適用できるか?									
③公共工事のとこに週用できるが?   道路および急傾斜地区における建物の落石対策工事に適用できる.									
1									

### 概要説明書(その2)

技術名称 落石防護補強土壁工法 ※登録No. 18D1040

#### 新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)

本工法は、土の柔な特性を利用し効率よく落石エネルギー吸収することで5000kJ程度までの大規模な落石を防護することが可能となった落石防護補強土擁壁である。

構造は、落石を受ける受撃体、落石衝撃力を分散させる伝達体および落石を停止させるための補強盛 土部となる抵抗体からなり、落石の規模によって組み合わせが異なる3タイプの擁壁がある。

また、掘削残土を流用ができることで建設廃材のリサイクル、壁面を緑化できることから環境への調和、土構造物であるため軟弱な地盤に追随できる特性を持つことから、杭基礎等が不要となり建設コストの縮減が可能となった工法である。その性能は、実物実験およびモデル実験により確認が得られている。

#### 新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

土構造の柔な特性で効率よく落石エネルギーを吸収することで、従来技術のコンクリート擁壁に比べ各段にエネルギー吸収性能が向上された工法である。また、土構造物の特性から軟弱な地盤に追随でき、基礎工に留意する必要がない。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

本技術を活用することにより低予算で大規模な落石対策を行うことができる.

また小規模な落石対策においても自然環境に調和できる効果を得ることができる.

#### 適用条件

①自然条件

水中および常時流水があるところ以外

②現場条件

**擁壁を構築できるスペースがあること** 

③技術提供可能地域

山間地の落石の可能性がある地域、および海岸部の落石の可能性がある地域

4 関係法令等

### 適用範囲

①適用可能な範囲

5000kJ以下の落石対策

②特に効果の高い適用範囲

100kJ~5000kJの落石対策

③適用できない範囲

水中及び常時流水のあるところ

④適用にあたり、関係する基準及びその引用元

ジオロックウォール設計施工要領:ジオロックウォール協会

落石対策便覧:日本道路協会

### 留意事項

①設計時

施工スペースを確保できること、資材を搬入できることおよび常時流水がないこと

②施工時

盛土材料が所定の条件を満足すること

③維持管理時

設計値を大幅に超える落石を受けた場合に発生する変形

4その他

特になし

基準数量: 50m あたり

### 概要説明書(その3)

技術名称	落石	坊護補強:	上壁工法	登録No.	18D1040				
活用の効果									
比較する従来技	比較する従来技術 高エネルギー吸収柵 (リングネットエ RX-150)								
項目		活用の効果					比	比較の根拠	
経済性		図 向上	( 30 %)	□同程度	□低下	(	%)	下記の比	2較内訳による
工 程		☑ 短縮	( 33 %)	□同程度	□増加	(	%)	仮設エカ	不要
品質		□ 向上		☑ 同程度	□低下				
安全性		□ 向上		☑ 同程度	□低下			性能照查	を実験により証明
施工性		図 向上		□同程度	□低下			道路際で	あること
周辺環境への	影響	☑ 向上		□同程度	□低下			壁面の網	化が可能
活用の効果の根拠									
	•						•		•

基準数量	50	単位	m
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)
経済性	23,586,000 円	33,858,000 円	70
工程	40 日	60 日	67

### ●新技術の内訳

基準数量: 50m あたり 金額 単価 数量 単位 項目 仕 様 摘 要 (円) (円) 受撃体工 H=3.5m 式 10,129,000 10,129,000 協会歩掛 1 伝達体工 式 1 5,709,000 5,709,000 協会歩掛 抵抗体工 1 式 7,748,000 7,748,000 協会歩掛 合 計 23,586,000

### ●従来技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額 (円)	摘	要
アンカーエ		1	式	3,490,000	3,490,000		
プレート設置エ		1	式	595,000	595,000		
リングネット本体エ		1	式	25,526,000	25,526,000		
足場工	斜面足場	1	式	4,247,000	4,247,000		
合 計			式		33,858,000		

# 概要説明書(その4)

技術名称 落	石防護	養補強土壁工		※登録No.	18D1040				
施工単価		□ 歩掛り	なし	☑ 歩掛りあ	り( 🗌 標準	· ☑ 協会 ·	□自社)		
T #11 5 / - 3				m #1/5 /	<b></b>				
Ⅰ 型タイプ		, a = エロ/s		Ⅲ型タイ	)	<del>I</del> II /			
H=3.0m	<b>→</b>	167 千円/1		H=3.0m	<b>→</b>	410 千円/m			
H=4.0m	→ 231 千円/1			H=4.0m	$\rightarrow$	530 千円/m			
H=5.0m	$\rightarrow$	303 千円/1	m	H=5.0m	→ 	673 千円/m			
Ⅱ 型タイプ				Ⅲ型フル	タイフ				
H=3.0m	$\rightarrow$	315 千円/1		H=3.0m	$\rightarrow$	510 千円/m			
H=4.0m	$\rightarrow$	420 千円/1		H=4.0m	$\rightarrow$	659 千円/m			
H=5.0m	$\rightarrow$	536 千円/1	m	H=5.0m	$\rightarrow$	842 千円/m			
施工方法									
_									
1 部材製作工	および	試験	→ 材料	料製作および	バ土質試験(値	吏用する土材料	の評価)		
② 準備工(床抽	屈∙整地	也・丁張り)	→ 現均	也測量,丁弨	りを設置				
③ ユニット設置									
④ 衝撃対応ジ	オグリ	ッドを敷設							
⑤ 伝達体設置									
⑥ 土砂敷均し	▪転圧								
⑦ 受撃体構築									
⑧ 天端植生シ	ート敷	設							
9後片付			→ 清排	帚作業					
残された課題と今	後の開	発計画							
①課題									
鋼材価格の高騰	によっ	てコストが上	昇した壁面	面材のコスト	縮減				
②計画									
形状を計画中									
 施工実績		☑ あり	□ なし	,					
新潟県の公共事	業		7						
他の公共機関		1	34						
民間等			7						
特許•実用新案							番 号		
特許		あり	 出願中				第3385507 <del>号</del>		
実用新案			<u> </u>				<u>.</u>		
ヘハル	証明を		1		, AL 12 (AL	<u> </u>			
	制度名		-	フェ帰ゆ ETIS					
他の機関による	番号	H		990009					
評価・証明	-	————— 等年月日		9,5,19					
	-	等年月 <u>日</u> 等範囲		9,5,19 £来					
	訨明=	<b>手</b> 軋	14	L术					

概要説明書(			
	落石防護補強土壁工法	※登録No.	18D1040
概要図、写真	等		
概要図、与具: 概要図 ( Ⅰ 型	写真 タイプ )    Application		
( Ⅲ 型	タイプ )    大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大		
( Ⅲ 型	フル タイプ )		

# 概要説明書(その6)

技術名称 落石防護補強土壁工法 ※登録No. 18D104								
-	<b>実績一覧</b>							
区分	発注者	地域機関名	工 事 名					
	国交省	高田河川事務 所	田伏道路改良その6工事					
	新潟県	佐渡地域振興 局	平成20年度(主)佐渡一周線離島地域連携工事					
	新潟県	佐渡地域振興 局	平成19年度(主)佐渡一周線離島地域連携工事					
県内	新潟県	新潟国道事務 所	新発田管区	内防災工事	<b>F</b>			
におけ	新潟県	佐渡地域振興 局	急傾公大第8-2-1米郷急傾斜地崩壊対策工					
る 施 エ	新潟県	相川土木事務 所	離改築1-5-1-3 H12年度道路改築工事					
実績	新潟県	村上土木事務 所	H11年度一般国道345号 災害防	号線地域戦 5除工事	<b>战略プラン国道</b>			
	山形県	国土交通省 東北地方整備 局酒田河川国	堅苔沢	.落石対策				
	島根県	島根県出雲 県土整備事務 所	国道184号乙立	工区災害院	坊除工事			
	沖縄県	沖縄県八重 山支庁	白浜南風見道路改	ス良工事(H	119-2工区)			
県外に	福井県	福井県朝日 土木事務所	道路災害防除工事	(5) その1工事				
おけ	東京都	東京都八丈	池之沢予防治山工事					
る 施 エ	北海道	国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設	.  一般国道230万 洞耶湖 月湘洛句例正: 					
実績	北海道	北海道旭川土木現業所	雨竜旭川線災	害防除工	事(道)			
	三重県	国土交通省中部地方整備 日本部地方整備 日本の一局に対象国道事 日本手県領南	熊野尾鷲道路	三木里地	区整備			
	福井県	福井県領南 振興局敦賀土 <u>木事務所</u>	急傾斜地崩壊対策.	工事その	1 寺谷地区			
			他1	32件				

### 概要説明書(その7)

技術名称 落石防護補強土壁工法						※登録No.	18D1040
				新技術提供企業		1	
区分	企業名	担当部署	担当者	住所	TEL	FAX	E—mail
代表	(株)プロテックエ ンジニアリング (販売・施工指導)	技術開発部	野田 浩章	新潟県北蒲原郡聖籠町蓮潟5322-26	025-278-1551	025-278-1559	noda@proteng. co.jp
	前田工繊㈱ (販売・施工指導)	新潟営業所	清明 邦央	新潟県新潟市中央区近江4-2-19	025-281-7211	025-281-7212	seimei@mdk.co.jp
	(株アドヴァンス (販売・施工指導)	営業企画部	川口 晃	新潟県新潟市中央区川岸町3-17-22	025-233-4131	025-233-4152	kawaguchi-a@advance-kk.co.jp
	トライアン(株) (販売・施工指導)	新潟営業所	川船 昌彦	新潟市西区ときめき西3-1-10-108	025-379-0360	025-379-0361	kawafune@tryan.co.jp
	昭和コンクリート 工業株 (販売・施工指導)	第一営業部防雪防災課	笠森 弥	石川県金沢市増泉4-5-6	076-241-2771	076-280-4381	kasamori@showa-con.co.jp
	(株)ミルコン (販売・施工指導)	技術設計部	木津 和幸	福井県福井市長本町202番地	0776-52-8015	0776-52-8001	k-kizu@po.milcon.co.ip
	日本ゼニスパイプ (株) (販売・施工指導)	防災本部	三場 弘道	東京都千代田区岩本町1-10-5(TMMビル)	03-3865-2616	03-3865-2630	miba@zenith.co.jp
	(株明商 (販売・施工指導)	群馬営業所	松本 浩一	群馬県前橋市総社町高井132-3	027-253-1950	027-253-1953	kouichi.matumoto@meisyo.net
	司商事㈱ (販売・施工指導)		高橋 和也	岩手県盛岡市羽場10地割1番地9	019-639-0000	019-639-0002	tukasa3900@crux.ocn.jp
代	小松物産㈱ (販売・施工指導)	郡山支店	面来 弘之	福島県郡山市喜久田卸1丁目80-1	024-959-6500	024-959-6508	h-menrai∉komatsu-bussan.jp
表以外	コサカ建材(株) (販売・施工指導)	高山支店	梨本 恭一	岐阜県高山市三福寺町3361-1 0577-34-7571		0577-34-7725	kt-nashimoto@send.ocn.ne.jp
71	篠田㈱ (販売・施工指導)	直轄営業部	伊佐地 司	岐阜県羽鳥郡岐南町野中1-8	058-245-5183	058-240-2661	t-isaji@gifu-shinoda.co.jp
	(株)フタバコーケン (販売・施工指導)	統括本部	中村 雅士	静岡県静岡市清水区港町1-6-4	054-352-1116	054-352-4085	nakamura-m@futaba-k.co.jp
	ナカショウ(株) (販売・施工指導)	彦根営業所	田中 政德	滋賀県彦根市野瀬町下須川92-4	0749-21-5290	0749-21-5291	tanaka@nakasho-jp.com
	ショーボンド建設 (株) (販売・施工指導)	大阪支店	今村 圭治	大阪府大阪市城東区永田3-12-15 06-6965-4321		06-6969-4873	k-imamura@sho-bond.co.jp
	㈱三友 (販売・施工指導)	建材第2事業部	河村 幸一	山口県防府市駅南町9-43	0835-22-3275	0835-22-6899	k-kawamura@san-yu.co.jp
	(株)ゴダイエース (販売・施工指導)		平田 憲一	大分県大分市三佐1丁目19番17号 097-522-2200		097-522-2210	info@godaiace.jp
	大和物産㈱ (販売・施工指導)		礒口 幸平	宮城県都城市高木町7030番地	0986-38-1145	0986-38-3980	isoguthi@e-daiwa.co.io
	㈱カーネギー産業 (販売・施工指導)	本社	上園 勉	鹿児島県鹿児島市東郡元町12-38	099-256-1000	099-256-1000 099-259-0868	
	(株)三晴 (販売・施工指導)	営業部	上地 徹	沖縄県那覇市泉崎1丁目16-18	098-861-4488	098-868-8455	sannsei-e@rvukvu.ne.ip